

審議会会議録要旨

会議名称	伊那市環境審議会
日 時	令和2年3月3日（火） 午後3時00分から午後5時12分まで
場 所	伊那市役所 庁議室（4階）
出席者	委員11名（欠席者1名）、事務局7名
会議進行等	1 開会 （伊藤 市民生活部長） 2 委嘱書交付 （1名） 3 あいさつ （細田 会長） （白鳥 市長） 4 第2次伊那市環境基本計画（案）の諮問 5 協議事項 （進行：細田 会長） （1）第2次伊那市環境基本計画（案）の協議 （2）今後のスケジュールについて 6 その他 7 閉会 （伊藤 市民生活部長）

【議事要旨】

～ 今回の審議会は報道等に公開で開催 ～

2 委嘱書交付

伊藤 正 委員（伊那商工会議所）への委嘱書交付（白鳥市長より）

4 第2次伊那市環境基本計画（案）の諮問

伊那市環境審議会あてに「第2次伊那市環境基本計画 兼 地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）（案）」の諮問（白鳥市長から細田会長に手交）

5 協議事項

(1) 第2次伊那市環境基本計画（案）の協議

第2次伊那市環境基本計画（案）について事務局（各担当）より説明を行う。
→説明後、委員から質疑・意見等を伺い、その後、事務局から回答を行う。

第1章 計画の基本事項

質疑・意見等なし

第2章 伊那市における環境の現状

(委員) 住民の関心は、年間降水量より最大時間降水量だと思うので追加したらどうか。

(事務局) ささまざまな資料を見ながら検討する。

(委員) 現状、気温（折れ線）と降水量（棒）のグラフが別々だが、一つのグラフで関係性が確認できると分かりやすいのでは。

(事務局) より見やすくなるように検討する。

(委員) 数年前に伊那市の気象観測所が東春近から移動しているが、グラフはどの地点の数値となっているか分かるようにすべきではないか。

(事務局) データを確認する。

第3章 計画の体系

(委員) 基本目標2のタイトルは「環境にやさしい循環型社会の実現」となっているが、説明内容は「地域環境の保全」や「地球温暖化対策（低炭素等）」となっている。循環型社会というタイトルであれば、基本目標3の方が相応しいのでは。（タイトルと内容が異なる。）

(事務局) 内容を精査し、検討する。

(委員) 昨年末、全国に先駆けて長野県が気候非常事態を宣言し、その後県下市町村でも宣言または賛同しているが、伊那市はどうかを記入すべきではないか。

(事務局) 県の宣言内容は市町村においても包括的となるため、個別に宣言する必要はないと認識している。伊那市も全国に先駆けて取り組んでいるつもりであるが、市長会も賛同の方向であり、計画の中には記載してある。

(委員) その内容は、市民に分かるのか。

(事務局) 理解をしていただくよう検討していく。

(委員) 計画の体系の中で「めざす姿」と「重点プロジェクト」との関係が分かりにくい。体系図の上や右に関連付けることもできるが検討を。

(事務局) 庁内検討会でも議論となったが、ご指摘のとおり、さまざまな項目が複雑に絡み合っている。再度、内容について検討する。

第4章 計画達成の取組

【個別目標（共通事項）】

(委員) 「個別目標」と「個別の取組」が両方とも「個別」という用語を用いており分かりにくい。

(事務局) 個別の取組を「各主体の取組」にするなど、分かりやすい表現にしていく。

【個別目標 1-3 山岳環境の保全】

(委員) 山岳には里山は含まれないのか。具体的な明記がないが、山岳域手前の里山の保護をしっかりとしないと解決しないのでは。

(事務局) 森林環境との境も含めて検討する。

【個別目標 2-3 エコドライブ・公共交通機関などの利用促進】

(委員) 今後、さらに高齢化が進む中で内容に無理がある。公共交通機関の利用や徒歩、自転車による移動等が難しくなるのではないか。

(事務局) 再度、内容について検討する。

【個別目標 2-4 再生可能エネルギーの導入と推進】

(委員) 市施設や地区集会所等で太陽光パネルや蓄電池などの導入が見られるが、太陽光に対する市の考えを明確にし、PRしたらどうか。

(事務局) Fit 法施行後、市の太陽光補助は終了した。現在は国補助 (Fit 法) による形になっている。

(委員) 市としての発電量の目標 (上限等) はあるのか。

(事務局) 正式ではないが、全国の全戸の屋根に太陽光パネルを乗せたとしても電力は足りないという試算が出ている。屋根置きは積極的に推進し、野立てや林地については慎重に進めていきたい。

(委員) 「再生可能エネルギー推進」は必要なことではあるが、「環境・景観を守る」ということも重要であると考えている。

(事務局) 国策として太陽光発電を含めた再生可能エネルギーを推進している。環境や景観等の守るべき基準がはっきりすれば、住民の思いを理解した上で推進をしていく。

(委員) 今年度、伊那市で初めて営農型 (ソーラーシェアリング) を計画しているが、今後も推進していくのか。

(事務局) まだ始まったばかりであり、方針は出ていないが、農業施策と連携しながら検討していく。

(委員) 市議会への請願・陳情、市議会における一般質問等で「条例制定」という声が上がっているが、現在、取り組んでいるガイドラインの見直しはどの程度まで進んでいるのか。

(事務局) 現在、見直し作業を進めてはいるが、議会での審議状況でどうなるか分からない。時期について明言はできないが、議会終了後、じっくりと見直しを進めていきたい。

(委員) メガソーラーの設置等について、事業者と地元でトラブルが生じるケースがある。ガイドラインの見直しについては環境審議会で審議してもらいたい。(市議会からも要望がある。)

(事務局) これまでも審議をお願いしている。時期は明言できないが、今回も環境審議会でご審議いただく予定である。

【個別目標 3-2 ごみ減量化の推進】

(委員) 市民一人一日当たりのごみの排出量と、事業系ごみ(可燃)の年間ごみ排出量の単位が違うが。

(事務局) 分かりやすい表記を検討する。

(委員) 可燃以外の事業系ごみ(埋め立て等)はどうするか。

(事務局) 事業所からのプラスチックごみは産業廃棄物となり、上伊那クリーンセンターでは処理できない。(法的に燃やすことができない)

(委員) 3010運動は分かるが、宴会のほとんどの場合はコース料理のため、注文量のコントロール(食べ残さない)は不可能ではないか。
時季により持ち帰りに制限はあるが、持ち帰り用タッパーの用意など、事業者に向けたさらなる啓発も必要なのでは。

(事務局) 表記及び啓発等の検討をする。

(委員) ごみの分別は高齢者には理解が難しい。ひと目で簡単に理解できるような表現(図解など)にできないか。

(事務局) 分別自体は分かりやすくなったが、冊子は細かく表記しすぎていて、逆に混乱を招いているかもしれない。より分かりやすい表記を検討する。

【個別目標 3-3 ごみの資源化やリサイクルの推進】

(委員) 資源物の分別方法(その他の紙等)等の情報が、衛生役員から住民レベルまで下りてこないのも、強制的に衛生役員が住民レベルにまで確実に伝達できる体制にしてほしい。

(事務局) 確実に伝達できるように、体制等を検討していく。

【個別目標 3-4 不法投棄・ポイ捨ての防止】

(委員) 大人のモラルを変えるには、子どものエネルギーが必要となる。

(事務局) 教育委員会や学校と連携し、子どもたちに伝えていく。

【個別目標 3-5 衛生施設の適正な維持と管理】

(委員) 閉鎖した中央清掃センターで災害ごみの受け入れは可能か。

(事務局) 稼働していないためできない。現状、申入れはないが、上伊那クリーンセンターで範囲内での受け入れは可能である。

【個別目標 4-1 環境教育の機会の提供と実践】

(委員) 子どもたちは環境イベントと環境教育を分けて考えている。イベントによる教育は難しく、否定するものではないが、環境教育は教育として特化した方がよいのではないか。

(事務局) 教育委員会、学校、行政ができること、行うべきことを表記し、子ど

もたちに教育を提供していく。

(委員) 環境教育を全学年で道徳の時間などで必須(定期的(年1回など))にして、幼少から環境に対する意識づけをしたらどうか。

(事務局) 教育委員会との調整も必要なため、表記できるかは分からない。

第5章 重点プロジェクト

【伊那から減らそうCO₂!! ～低炭素社会の実現に向けて～】

(委員) 木質バイオマス(薪ストーブ、ペレットストーブ等)を活用においては高コストとなるが、いかに抑えるかの対応策はあるのか。

(事務局) 市耕地林務課と上伊那森林組合で取り組んでいる。これまでは「質の向上」だったが、今は「低コスト」にシフトしてくると考える。

(委員) 市公用車における電気自動車の導入の方針はあるか。

(事務局) コスト面で課題はあるが、今年度の更新(1台)を足掛かりにさらなる取り組みと、災害時の対応等を検討していきたい。

【すすめようプラごみの削減 ～使い捨てプラから代替製品へ～】

(委員) 紙製レジ袋を販売者にどう提供するのか、見通しはあるのか。

(事務局) 検討中です。

【はじめよう食品ロスの削減 ～ムダのないライフスタイルの実践～】

(委員) 事業者の都合などもあるが、事業者への具体的なアプローチ方法は。

(事務局) 具体的な取り組み内容は今後検討していくが、伊那商工会議所、飲食店組合、各種団体等の協力を得ながらアプローチしていきたい。

第6章 計画の管理

質疑・意見等なし

(2) 今後のスケジュールについて

- ・ 3月3日～ パブリックコメント(3月16日まで)

※委員の皆様もご意見等は3月16日までに事務局へお寄せください。

- ・ 3月24日 伊那市環境審議会(答申案の協議)

※パブリックコメントを反映した計画案を後日送付します。

- ・ 3月27日 答申

6 その他

概要版(案)は現段階の内容となるため、計画案と同様、パブリックコメントを反映したものを後日お示しします。